

令和7年度第7回広聴広報会議記録

広聴広報会議座長 松本 雄士

1 日時

令和7年12月10日水曜日

午前10時46分開会、午前11時15分散会

2 場所

議会運営委員会室

3 出席議員

松本雄士座長、小西和子副座長、村上秀紀議員、大久保隆規議員、
ハクセル美穂子議員（代理）、吉田敬子議員

4 欠席議員

村上貢一議員

5 事務局職員

藤原事務局次長、柳原議事調査課総括課長、嵯峨政策調査課長、加藤主任主査、
菊地主任主査、高橋主査、久保田主査、谷地主査、八幡主事、佐々木主事

6 傍聴議員

高田一郎議員、小林正信議員

7 一般傍聴者

なし

8 会議に付した事件

（1）協議事項

令和8年度県民と県議会との意見交換会の実施方針（案）について

（2）報告事項

ア 令和7年度県議会出前講座（7、9月実施分）の実施結果について

イ 令和7年度傍聴アンケート調査の結果（9月定例会分）について

（3）その他

ア 令和7年度県民と県議会との意見交換会における参加者からの御意見について

イ 次回の会議日程について

9 議事の内容

○松本雄士座長 ただいまから、令和7年度第7回広聴広報会議を開会します。

本日は、いわて県民クラブ・無所属の会の村上貢一議員に代わり、ハクセル美穂子議員が出席しておりますので、よろしくお願ひします。

これより本日の議題に入ります。本日は、お手元に配付しております日程により会議を行います。

まず、1、協議事項の（1）令和8年度県民と県議会との意見交換会実施方針（案）についてを議題といたします。

はじめに開催計画について、事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 資料1－1をごらん願います。

1の開催回数については、10月24日の当会議におきまして、令和8年度についても年4回、4広域振興圏で1回ずつ開催することとし、うち若者及び女性との意見交換会を各1回開催すると決定いただいたところです。

2の開催計画をごらん願います。

はじめに、右の開催区分については、過去の実績から、女性との意見交換会を県北地区で、若者との意見交換会を県央地区で、対象者を限定しない通常の意見交換会を沿岸地区と県南地区で開催することとしてはいかがかと考えております。

次に、開催時期については、来年度も前期と後期に分けて開催することとし、前期は令和8年4月に、後期は令和8年度の下期に開催することとしてはいかがかと考えております。

次に、開催地については、過去の実績等を考慮しまして、県北地区と沿岸地区を前期、県央地区と県南地区を後期とし、開催場所については、過去の実績等を考慮して、記載のとおりとしてはいかがかと考えております。

これまでの開催市町村につきましては、4ページの参考3に記載しておりますので、参考いただければと存じます。

なお、会場につきましては、参加者の収集のしやすさを考慮しまして、県の合同庁舎で開催することを想定しております。

資料1－2は、開催要綱ですので、後ほどごらん願います。

説明は、以上のとおりです。よろしく御協議をお願いいたします。

○松本雄士座長 ただいまの説明に対し、質疑、御意見等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松本雄士座長 それでは、年間の開催計画については、事務局の説明のとおりとしたいと思います。

なお、詳細については当職に御一任願います。

次に、ここからは自由に御意見を賜りたいと思います。前期の、県北地区の久慈市、沿岸地区の大船渡市の意見交換会のテーマについて、まず、事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 次に、来年度前期のテーマについてでございますが、参考1にテーマ例として考えられるものを記載しております。

なお、3ページに記載しておりますが、直近の例といたしまして、今年度は、県北地区が、文化や伝統産業を通じた地域振興について、沿岸地区は対象者が女性で、沿岸地域の農林水産業・食産業の魅力と課題についてをテーマとしております。

また、令和6年度は、沿岸地区が、沿岸地域の魅力と地域課題について、女性を対象とした県南地区は、働きながら安心して子どもを生み育てられる環境づくりについてをテーマとしております。

また、2ページにお戻りいただきまして、令和4年度に県北地区で女性を対象に行った際は、女性が活躍できる地域産業のあり方についてをテーマしております。

本日いただいた御意見等をもとに開催概要案を作成しまして、次回の当会議にお諮りしたいと存じます。

説明は、以上のとおりです。よろしく御協議をお願いします。

○松本雄士座長 それでは、前期の県北地区の久慈市、沿岸地区の大船渡市の会場ごとに意見交換会のテーマについて、協議したいと思います。

まず、県北広域振興圏の女性との意見交換会のテーマについてありますが、御意見等はありませんか。

○ハクセル美穂子議員 ジェンダーギャップにしてはいかがかと思います。県民の皆さん実際の御意見、どういったことを感じているかなどを伺えればと思います。

○松本雄士座長 それでは、県北広域振興圏のテーマについては、ジェンダーギャップ解消に向けて、そういった取り組みを頑張っていらっしゃる女性から御意見を賜ることしたいと思います。

なお、詳細については当職に御一任願いたいと思います。

次に、沿岸広域振興圏のテーマについてありますが、御意見等はありませんか。

○吉田敬子議員 今年度、元々は大船渡市で開催する予定でしたが、大規模林野火災が発生したため、開催場所を釜石市に変更したことを踏まえて、来年度、大船渡市で開催する予定という認識でよいでしょうか。

○嵯峨政策調査課長 今年度、最初は大船渡市を会場に開催予定だったものを、大規模林野火災が発生したということで、釜石市に変更したものです。

○吉田敬子議員 参集者はそのままで会場だけ変更したということでしたか。

○嵯峨政策調査課長 基本的にテーマについては、踏襲しておりましたので、参集できる方ということで、大船渡市の方も会場の釜石市にいらしていただきました。

○大久保隆規議員 大船渡市ではバイクに関する取り組みを行っていると最近ニュースで見ます。沿岸地域の人口減少が顕著ですので、交流人口、関係人口の拡大についてというテーマはいかがかと思います。

○松本雄士座長 それでは、沿岸広域振興圏のテーマについては、交流人口、関係人口の拡大の取り組みについてとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○吉田敬子議員 参集者を人選されるときに、林野火災もありましたので、交流人口の中に林業関係者を入れることは難しいでしょうか。

○大久保隆規議員 釜石市には大規模林業ではなく、移住して自伐型林業を小規模で行っている方がいます。大船渡市にもいらっしゃるかもしれないから、林野火災にも関連して、大事な視点ですね。

○嵯峨政策調査課長 今お話いただいたような方について、地元の意見もお伺いして探していきたいと思います。

○松本雄士座長 御意見ありがとうございます。

詳細については当職に御一任願いたいと思います。今いただいた意見を踏まえまして、開催案を詰めていくこととしたいと思います。

次に、2、報告事項(1)県議会出前講座（7、9月実施分）について事務局から説明を

お願いします。

○藤原事務局次長 資料2をごらん願います。

7月と9月に高校と中学校でそれぞれ実施した県議会出前講座について、当日の実施概要のほか、参加生徒のアンケート結果と感想を取りまとめました。

県立盛岡工業高校は、1年生240人を対象に実施予定でございましたが、当日、熱中症警戒アラートが発令されたため、学校の御判断により、体育館での実施を取りやめまして、35名の参加により教室での実施となりました。

3ページ上段をごらんください。

県立盛岡工業高等学校ですが、事前アンケートでは92.6%が、県議会の活動をあまり知らない、全く知らないと回答しております。

5ページ上段をごらんください。

事後アンケートでは、91.4%がかなり興味・関心が高まった、ある程度興味・関心が高まったと回答しており、興味、関心を高めることができていると考えております。

次に、一関市立萩荘中学校でございます。7ページ上段をごらんください。

事前アンケートでは、52.8%が県議会の活動を知らないと回答しております。

8ページ下段をごらんください。

事後アンケートでは、65.0%がとても興味がわいた、興味がわいたと回答しており、興味、関心を高めることができていると考えております。

そのほか感想等については、後ほどごらん願います。

こちらの資料は、全議員に配付するとともに、感想とアンケート結果を除く1ページと2ページを県議会ホームページに掲載し、実施校には各校のアンケート結果をお知らせしたいと考えております。

報告は、以上のとおりです。よろしくお願ひいたします。

○松本雄士座長 ただいまの説明に対し、質疑、御意見等はありませんか。

○吉田敬子議員 アンケート結果についての感想なのですけれども、高校生は今まさに選挙や政治に関心を持つてもらいたい世代なので、すごく響いたのだと感じました。やる意気が大きく、大事な取り組みだと思います。

○ハクセル美穂子議員 今後お願いしたいのですが、来年度の実施校募集の際に、今回の実施報告の結果を、こういうフィードバックがあったと実施対象の学校の先生方にも見ていただくと、もしかしたら有効に活用していただけるのではないかと思います。素晴らしい結果だったので、伝える機会があればと思います。

○嵯峨政策調査課長 来年度に向けての募集につきましては、11月中旬に既に教育委員会を通じて各学校にお願いしているところでございますが、実施結果については、県議会のホームページにも掲載させていただく予定でございますので、申し込みがあった学校にはお知らせするなど活用したいと思います。

○吉田敬子議員 来年度の募集中のことですが、既に応募はあるのでしょうか。

○嵯峨政策調査課長 今のところ1校でございますが、12月末までの募集期間ですので、応募はこれからかと思います。

○松本雄士座長 ゼひお近くの学校にお声がけいただければと思います。

他にはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松本雄士座長 それでは、この報告書については、全議員への配付等を行うこととします。ハクセル議員から御提案いただいた点についても御対応をよろしくお願ひします。

次に、2、報告事項(2)令和7年度傍聴アンケート調査の結果(9月定例会)について事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 9月定例会における傍聴アンケート調査の実施結果がまとまりましたので、概要を御報告いたします。

資料3をごらん願います。

2の調査結果の概要についてでございますが、アンケートは88名の傍聴者の中、71名の方々に御協力いただき、回答率は80.7%でした。

主な調査項目と回答内容につきましては、説明を省略させていただきますが、(5)のその他の自由意見、感想等のところでは、県政に関することや、議会運営、議員、執行部に関する御意見、御感想をいただいております。

3の今後の対応についてでございますが、この集計結果を、執行部に提供し、提言をいただいた分については注意喚起等を図るとともに、事務局内で情報共有し、今後の取り組みの参考としたいと考えております。

2ページ以降については、アンケート結果の詳細になります。

なお、2ページの1(3)の、何によって知りましたかの設問に対し、今回、ポスターと回答いただいた方が2名ございました。おそらく若者向けの傍聴案内ポスターのことかと思います。その他は、後ほど、御目通し願います。

なお、全議員と執行部に配付し、情報の共有を図ることといたします。

また、2ページ以降については、県議会ホームページでも公表したいと考えております。

報告は、以上のとおりです。よろしくお願ひいたします。

○松本雄士座長 ただいまの説明に対し、質疑、御意見等はありませんか。

○村上秀紀議員 インターネット中継をしている時に、その時間で何人アクセスしているかは確認できるものですか。

○嵯峨政策調査課長 生中継については、こちらでは随時確認をとれるものではございません。業者でわかっているかもしれません。

○村上秀紀議員 もし業者でわかっているれば知りたいところです。

○嵯峨政策調査課長 確認してみたいと思います。次の会議のときに御報告します。

○松本雄士座長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松本雄士座長 それでは、このアンケート結果については、全議員への配付等を行うこととします。

次に、3、その他(1)令和7年度県民と県議会との意見交換会における参加者からの御意見についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 資料4をごらん願います。

令和7年11月13日に当議会議事堂で県民と県議会との意見交換会を開催したところですが、その参加者から、令和7年11月19日に文書により意見交換会のあり方について御意見をいただきましたので、御報告いたします。

文書の要旨としましては、テーマである「生きがいづくり」に関する考え方やその醸成に焦点を絞り、深掘りしてほしかったという内容であり、事務局に対し、意見交換会に出席された議員への文書の配付について、依頼があつたものでございます。

意見交換会当日におきましても、これまでの開催回と同様に出席議員の皆様からテーマに沿って自由に質疑をしていただいたところでございますが、参加者は開催通知に記載している話題例について順次意見交換が行われると認識されており、質疑の途中で進行について御意見をいただいたところです。

事務局といたしましては、意見交換を円滑に行うことができるよう、参加者に進行イメージをより丁寧に説明するとともに、広く県民の声を聴くという意見交換会の趣旨を御理解いただけるよう対応してまいります。

なお、いただいた文書につきましては、本日、出席議員に配付するとともに、議会への提言としてSideBooksに概要を掲載し、全議員に共有したいと考えております。

報告は、以上のとおりです。よろしくお願ひいたします。

○松本雄士座長 ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

○小西和子議員 私が座長だったのですけれども、普通のパネルディスカッションになることを想定していらっしゃったと思います。私は、議員の皆様から質問や御意見を出していただいて、最終的にまとまればいいかと思って進めていました——安易だったのですけれども。大久保隆規議員から活動の課題という質問を出していただいたのですが、最後に行くのですか、と言われたのです。

参加者に送付している文書を、参加議員——一番必要なのは座長だと思うのですが——知つていれば良かったのかなと思いました。それは、テーマの柱が健康づくり、社会貢献、最後が課題、必要な支援というように参加者には……

○大久保隆規議員 レジュメになっているのですね。

○小西和子議員（続） こういう話をしてくださいということを知らせていたのです。

議員たちは知らないものですから、最終的にまとまればいいかと思っていたのですが、参加者は御不満だったと思います。それぞれ、みなさん、こういうことを発言しようと準備してきたのです。それなのに、議員たちは知らないから、一生懸命、このことでしょう、のことでしょうと全員が質問しました。

ということで、参加者宛ての文書があるとすごく良かったと思います。このとおり進めしていくと2時間ではまとまりませんので、座長が切りながら進めなければならないと思うのですけれども。すごくまじめな方で、せっかく準備してきたのに発言の機会がなかつたし、もっと掘り下げられたのではないかという思いは伝わってきました。おっしゃるとおりだと思います。

私も多忙で事務局の皆さんと十分に打ち合わせできなかつたことが一番のミスだったと思います。以上、申し訳ございませんでした。

○ハクセル美穂子議員 私も会場にいました。県民と県議会との意見交換会には、私もかなり参加していますけれども、そういう解釈があるのかと勉強になりました。こういう順番で進めると事前にお互いにわかっている中で実施した方がいいと勉強した会でした。

次からは意思疎通がうまくできるように——上手に話せる方、上手に話せるからこそ話したかった方と、中には普段こういう場に参加されない方で、なかなか急な質問に対応できない方もいらっしゃるかと思います。このようにトピックを出して来ていただくのもありだし、それをどういう順番でやるか、大まかにお互いに情報をわかった上で実施するのがいいのかなと思った勉強になる会でした。

修正していけばいいと思います。事前学習できる、流れがわかるものを広聴広報会議で揉んでいただいて、参加する人に配付していただければいいのかと思いました。

○大久保隆規議員 同感です。いらっしゃっている方々にお知らせしている内容がわかれれば、それを上手に引き出してあげられるようにして、盛り上げていきたいと思いました。

○松本雄土座長 私も報告を聞いて、小西和子議員に非があるとは思いませんでした。

事務局から説明がありましたが、進行のイメージ、そもそも会の趣旨をしっかりと周知して、その内容を議員側も共有して、一緒に円滑に進めていければと思いますので、よろしくお願ひします。

それでは、事務局の説明のとおり、御了承願います。

次に、3、その他の(2)次回の会議日程についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 次回、第8回広聴広報会議については、令和8年度県議会広報業務一括委託、令和8年度県民と県議会との意見交換会（前期実施分）の開催案などについて御協議いただくため、2月定例会の10日前議会運営委員会終了後に開催してはいかがかと考えております。

よろしく御協議をお願いいたします。

○松本雄土座長 ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松本雄土座長 それでは、次回の会議は、2月定例会の10日前議会運営委員会終了後に開催することとしたいと思います。

本日、予定された案件は以上であります。

ほかに、構成員の皆様から、何かありませんか。

○嵯峨政策調査課長 先ほど村上秀紀議員から御質問いただきました、インターネット中継でございますが、令和7年6月定例会の実績ですと、一般質問が4日間で1,541件程の閲覧となっておりまして、あとから委託業者から何件かという報告はいただいている状況でございます。

○村上秀紀議員 技術的に大変かと思いますが、直接傍聴に来ている人よりも圧倒的に多い訳ですので、その方々から御意見をいただける方法がないかと思い聞いてみたところで

す。

○嵯峨政策調査課長 インターネット中継のツールではないのですが、フェイスブックを通してライブ中継を見た方から御意見をいただくことはあります。

○村上秀紀議員 我々がそのコメントを見たりすれば、視聴者の声がわかるということですね。

○藤原事務局次長 広く周知しておりますので、いろいろな御意見をいただければと思っております。

○吉田敬子議員 広聴広報会議の場で、インターネット視聴がどのくらいあるのかを傍聴アンケート調査結果と一緒に出してもらえるとよいかと思うのですが、どうでしょうか。

○嵯峨政策調査課長 傍聴アンケートの取りまとめと同じ時期であれば可能かと思いますので、次回からあわせて御報告申し上げたいと思います。

○松本雄士座長 他にございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○松本雄士座長 なければ、本日は、これをもって散会いたします。